

【地域デザイン科学研究科人間文化専攻（修士課程）アドミッション・ポリシー】

令和4年3月9日人間発達文化研究科委員会制定

令和4年6月8日人間発達文化研究科委員会改正

1. 教育目標と求める学生像

人間文化専攻では人間および人間社会が歴史的に創り上げてきた文化に関する専門的な探究・学際的な融合を通して、地域における人間と文化の21世紀的なあり方をデザインしていくことを目的としています。これを達成するために、高度で多様な専門的知識を持ち、地域との協働の中で新しい価値を創造して諸問題の解決を先導できる高度専門職業人として以下の能力を身につけることを希望する者を受け入れます。

- ・人間や社会，地域，文化に対する問題意識を持ち，高度専門職業人にふさわしい知識と技能の修得を望む学生あるいは社会人。
- ・課題を解決するために必要な組織や人材を活かしながら，修得した知識や技能を地域で積極的に生かそうとする能力の修得を望む学生あるいは社会人。

人間文化専攻には，言語文化コース，地域文化コース，スポーツ・芸術文化コース，人間発達心理コース，の4つのコースがあります。各コースが求める学生像は，次のとおりです。

<言語文化コース>

言語文化に関する専門的な知識を基に，文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<地域文化コース>

地域，社会，生活に関する専門的な知識を基に，文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<スポーツ・芸術文化コース>

スポーツ・健康，音楽，美術に関する専門的な知識・技能を基に，スポーツ・芸術文化の創造・発展に貢献する力を身につけることを目指す学生。

<人間発達心理コース>

人間の発達と心理に関する専門的な知識を基に，人間発達心理分野に貢献する力を身につけることを目指す学生。

2. 入試の際に求める知識・技能・関心

上記の目的を達成するため，以下に掲げる知識，技能，関心を有している学生あるいは社会人を求めます。

- ① 社会や地域，文化あるいは人間発達に対する研究的な強い関心

- ② 大学院での研究の基礎となる当該分野の学力
- ③ 大学院での研究に関する明確な目標と計画

3. 入学者選抜の基本方針

人間文化専攻では、下表に記した方法で、「知識・技能」,「思考力・判断力・表現力」,「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度（以下,「主体性等）」の学力の3要素を評価します。

入試の種類	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性等
一般入試	成績証明書・外国語科目※・専門科目・面接		面接
学類所属生特別入試	成績証明書・学習履歴レポート・面接		面接
現職教員特別入試	実践記録レポート・面接		面接

※人間発達心理コース臨床心理領域のみ